

川越市

基礎情報

【人口】 350,745 人 【世帯】 145,715 世帯（平成 27 年国勢調査より（総務省））

【母子・父子世帯数】

母子世帯数：2,277 世帯 父子世帯数：419 世帯

（平成 27 年の国勢調査の結果より一般世帯数のうち、20 歳未満世帯員のいる母子世帯および父子世帯（他の世帯員がいる世帯を含む））

※母子世帯：未婚、死別又は離別の女親と、その未婚の 20 歳未満の子供のみから成る一般世帯。

※父子世帯：未婚、死別又は離別の男親と、その未婚の 20 歳未満の子供のみから成る一般世帯。

概要

○ひとり親に対して交流の場を提供し、ひとり親家庭支援の相談窓口の担当者とだけでなくひとり親家庭同士で悩みを共有できるよう「シングルマザー交流会 ママっこ広場」を開催。相談窓口に来訪していないひとり親が、窓口をより身近に感じてもらい、交流会後の相談につながるよう母子・父子自立支援員も参加することで、相談のために来庁するきっかけ作りとして、また自立に向けて前向きに取り組むきっかけ作りとして、平成 18 年度から開始している。

【体制】

川越市ではひとり親関係の支援は主にこども未来部こども家庭課で実施している。担当職員は行政職が 2 名、非常勤特別職として、母子・父子自立支援員が 3 名、母子・父子自立支援プログラム策定員兼就労支援専門員の兼務者が 1 名配置されている。母子・父子自立支援員は週に 4 日、8 時 45 分から 17 時 15 分までいて、3 名のうち 1 名は勤続年数が 15 年を超えているため、その母子・父子自立支援員を中心に、相談しながら日々業務を行っている。

（１）ひとり親に対して交流の場を提供し、支援員とだけでなくひとり親家庭同士で悩みを共有（ひとり親家庭等生活向上事業のうち情報交換事業）

①実施の経緯

川越市では、市役所にてひとり親家庭の相談窓口を設置しているが、実際に来庁して相談することにハードルを感じる方や、孤立感を感じている方などがいた。

そこで、先行して実施していた母子家庭等就労支援セミナーの参加者等に、母子家庭の交流についてアンケートを実施したところ、交流の場を希望する声が多数あった。

このことから、ひとり親家庭が交流する機会を設け、気軽に相談するきっかけとなるような取組みを行うこととした。

具体的には、ひとり親家庭の親と子を対象とし、母子・父子自立支援員をはじめとする相談窓口の職員が参加する「シングルマザー交流会 ママっこ広場」を、土曜日に開催した。

②実施内容

平成 28 年度は「シングルマザー交流会 ママっこ広場」を 7 月、9 月、12 月、2 月の月 1 回の土曜日に計 4 回開催した。定員は、毎回、親子で 10 組としており、内容は月ごとに異なるが、日常から離れて親子で楽しむための工場見学、スイーツ作りなどを行っている。交流会には、母子・父子自立支援員も参加しているため、ひとり親支援施策や他の社会資源等を案内

し、自立に向けた支援につなげられるよう心掛けています。

年に一度は、母子・父子自立支援員の支援を通じて自立した方などをボランティアとして招き、自立するまでの経緯や現在までの状況等を聞く、「お話し会」を開催した。これは、自立に向けた具体的なイメージを描くための機会を提供することを目的としている。

今年度は9月に「お話し会」を実施した。車座になって、お茶菓子などを用意して、気軽に話ができるような雰囲気作りを行ったうえで、情報交換等を実施している。

なお、「お話し会」のようなひとり親のみを対象とし、子どもを対象としない交流会など、必要に応じて臨時の保育士を配置し、安心して交流会に参加できるように子どもを預けられるようにしている。

なお、託児を含め、参加費は無料としている。

平成28年度 「お話し会」の当日のスケジュール

12:45	机等準備
13:00	受付開始
13:30	開催挨拶 お話し会の流れを説明
13:35	相談窓口の職員（母子・父子自立支援員）より簡単な自己紹介
13:55	先輩シングルマザー講演 テーマ「先輩シングルマザーとして、子育て中のお母さんに今伝えたいこと」 ・母子家庭としての苦労 ・資格取得や就労についての経緯
14:25	休憩
14:35	他事例・制度紹介
14:50	ライフプラン会 ・講演者の話やその他自立された方のケースをもとにライフプランの立て方や自立に向けての支援等を母子・父子自立支援員から紹介
15:20	情報交換会 ・講演者や母子・父子自立支援員への質問等
15:45	感想共有
15:50	閉会挨拶
16:00	（解散、片づけ）

出典）川越市資料より作成

③事業実施の効果

「シングルマザー交流会 ママっこ広場」を実施した結果、交流会をきっかけに、参加者が自立に向けて前向きに取り組めるようになったり、母子・父子自立支援員との相談に至るまでの心理的なハードルを取り除くことで、相談窓口を身近に感じられるようになった。

また、参加者同士の交流を促すことで、連絡先を交換し合ったり、次回のママっこ広場に一緒に参加するなど、孤立感の緩和に効果が見込まれる。



しんぐるまざーこりゅうかい

2月のママっこひろば

は…

フライパンで 簡単ピザを作ってみよう!

今回のママっこひろばではフライパンでできる
簡単ピザが作れます!
お子さんと一緒に、挑戦してみませんか?

母子・父子自立支援員も参加しますので、お気軽に参加ください。
お待ちしております。




日時 平成29年2月25日(土)
午後2時から4時まで

会場 川越市中央公民館
〒350-0054 川越市三久保町18-3
☎ 049-222-1394

集合 川越市中央公民館 南習室
午後1時30分から受付
※当日連絡先はこらまで。
☎ 080-8032-4668

定員 10組(先着)
託児あり(要予約) **2月21日火曜まで!**

費用 無料

申込 2月6日(月)9時より電話・FAXで受付。
必要事項は①姓し物名 ②氏名 ③住所
④連絡先 ⑤参加するお子さんの氏名と年齢
※2月21日(火)にでも郵送願ひ。



宛先 こども家庭課 担当・ひとり親支援担当

〒350-8801 川越市元町1丁目3番地1
☎ 049-224-5821
Fax 049-225-5218

3

④今後に向けて

事業にかかる経費は、原則として臨時の保育士を配置したときの人件費やイベントごとの食材費のみで、公民館や無料で参加できる工場見学を利用しているため、会場費用は計上していない。また、工場見学の際のマイクロバスも市の所有物となっているため、同様である。

このことから、大きく予算を確保する必要がない実施方法となっている。

一方で、平日働いているためひとり親とその子どもが揃って参加できるように、土曜日に開催しているが、行政職が企画立案を行い、当日は行政職の他に母子・父子自立支援員も参加していることから、年間の開催回数を増やすことが難しくなっている。

今後は、相談窓口につながる利点を最優先にしつつ、参加者への効果的な支援のあり方を検討するとともに、企画立案や開催については外部委託を検討していく。

以上